

## 生涯学習概論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと)

- 1 博物館における学習の特質と支援方策について、800字以内で説明しなさい。(30点)
- 2 生涯学習・社会教育における評価には、「学習の評価(学習成果の評価を含む)」と「生涯学習・社会教育事業の評価」があります。この2つの評価はどのようなことで、それにはどのような意義があるか、「目標」、「修了証」、「PDCA」の3つの語句を用いて、800字以内で説明しなさい。(ただし、使用する語句の順序については任意とする。)(20点)
- 3 家庭教育への関心が高まっている背景や、そのあり方について、社会教育の観点から「保護者」、「支援」、「連携」の3つの語句を用いて、800字以内で説明しなさい。(ただし、使用する語句の順序については任意とする。)(20点)
- 4 の中から最も適切な語句を選んで( )に記号を入れ、下記の文章を完成させなさい。なお、各記号は一度しか使用することができないものとし、文章中の同じ数字には同じ記号が入るものとする。(各2点)

(1) 「生涯教育」という概念は、(① )年に(② )が開催した成人教育推進国際委員会で(③ )によって提起された。また、1968年には、アメリカの(④ )が『(⑤ )論』を刊行し、その中で(⑤ )という言葉を使い、未来社会では、働くための学習ではなくして、人間らしく生きるための学習が必要だと説いた。さらに、1999年に開催された先進国首脳会議では、いわゆる『(⑥ )憲章』が採択された。ここでは、21世紀は(⑦ )への要請がかつてないほどに高まり、将来には教育と(⑧ )が(⑦ )へのパスポートになるといわれた。

(2) 教育公務員特例法による専門的教育職員である(9)は、(10)事務局に置かれて、社会教育を行う者に対して、(11)をすることができる存在である。

(3) 公民館について規定している法律は(12)法であり、第21条第1項では公民館の設置者を(13)と定めており、館長の諮問機関である公民館(14)は(15)となっている。

ア. 1865 イ. 1945 ウ. 1965 エ. OECD オ. UNICEF カ. UNESCO  
キ. ロンドン ク. シカゴ ケ. ケルン コ. R.M.ハッチンス サ. P.ラングラン  
シ. E.ジェルピ ス. P.フレイレ セ. 国際性 ソ. 流動性 タ. 地域性 チ. 資格  
ツ. 生涯学習 テ. 経験 ト. 学習社会 ナ. 永続教育 ニ. リカレント教育  
ヌ. 社会教育 ネ. 社会教育主事 ノ. 司書 ハ. 学芸員 ヒ. 公民館  
フ. 生涯学習センター ヘ. 教育委員会 ホ. 市町村 マ. 都道府県 ミ. 国  
ム. 命令・監督 メ. 指導・助言 モ. 委員会 ヤ. 協議会 ヨ. 運営審議会  
ヨ. 必置 ワ. 任意設置